

# 「栄光のバックホーム」

野球に生き、仲間に支えられ、家族に愛された。

その全てが胸を打つ、かけがえのない真実がそこにあった――。

## 【日本語字幕版上映のご案内】

場所:鹿児島ミッテ10

日程:2025年12月14日(日) ~ 12月16日(火)

FAX:099-812-6620

※日本語字幕版の上映時間は各劇場へお問い合わせください。

## 【内容紹介】

阪神タイガースの若きホープとして期待された横田慎太郎は、21歳で脳腫瘍を発症し夢半ばで引退を余儀なくされた。彼が最後の試合で魅せた“感動のラストプレー”は、多くの人々の心に深く刻まれている。本作『栄光のバックホーム』は、彼の自著とノンフィクションを基に映画化された。

2013年、ドラフト2位で阪神に指名された18歳の横田慎太郎。甲子園出場を逃すもその野球センスが認められ、持ち前の負けん気と誰からも愛される人間性で厳しいプロの世界でも立派に成長を遂げていく。2016年には開幕スタメンを務め、初ヒットを記録するなど飛躍を遂げるが、体に異変が訪れる。診断は脳腫瘍—過酷な現実を前に、慎太郎は母ら家族、恩師やチームメイト達の支えを受けながら闘病の日々へと向き合っていく。そして迎えた2019年9月26日の引退試合。慎太郎が魅せた“奇跡のバックホーム”は、人々を驚かせ、感動を呼んだ。だが、本当の奇跡のドラマは、その後にも続いていたのだった…。

製作総指揮を見城徹と依田翼、『20歳のソウル』の秋山純が企画・監督・プロデュース、中井由梨子が脚本を務め、[幻冬舎フィルム第一回作品]となる『栄光のバックホーム』として映画化。主人公・横田慎太郎を演じるのは、新人俳優の松谷鷹也。横田慎太郎本人から譲り受けたグラブを手に“奇跡のバックホーム”を渾身の演技で再現。W主演として母・まなみさんを演じるのは名優、鈴木京香。揺らがない息子への愛を体現する。他、日本屈指の演技派俳優陣が物語を彩り、主題歌は慎太郎の心の支えで現役時代の登場曲だった、ゆずの「栄光の架橋」。